

学校教育目標(菊鹿小中学校)

「ふるさとを愛し、夢の実現に向けて  
挑戦し続ける児童生徒の育成」

菊鹿小スローガン

～学び合い つながり合い 菊鹿愛～

文責 校長 早田 宗生

# 菊鹿愛

## 職員も切磋琢磨しています

各学校では職員の資質向上等のため職員研修を行っています。本校では、その一つである校内研究で右のテーマを設定し取り組んでいます。教師と児童、児童と児童の関係の中で、互いの立場や考えを尊重し、言語を通して正確に理解したり適切に表現したりする力を高めることは、これからの時代を生き抜く力として必要なことです。二人で意見交換等をするペアトークや、数人で行うグルーptーク等を生かした学び合いの充実を図るために「菊鹿小学び合いのスキル」「菊鹿小授業スタンダード」「聞き方のあいうえお」「話し方かきくけこ」等を定め、学び合いや授業の流れ、聞き方等の基礎・基本を指導し、自分の考えをもち、伝え合うことで学びを深め合う授業を目指しています。

### 【研究テーマ】

「自分の考えを伝え合い、学びを深める児童の育成」

～ 国語科「読むこと」の力を高める指導を中心として ～

その一環として、1学期は、4年生と2年生で研究授業(全職員で参観し、放課後の研修で授業の進め方等について意見交換等をする基となる授業)を行いました。

4年生は国語の授業(指導者:高本教諭)でした。

授業には常にねらいをもって指導しますが、この時間のねらいは「会話文や場面の様子、登場人物の行動や気持ちなどを捉え、戦場に向かう父親が娘に一輪のコスモスを渡したときの思いや願いを読むことができる」ことでした。

2年生は道徳の授業(指導者:大林教諭)でした。

ねらいは、「逆上がりを何度練習してもうまくできないけれどあきらめずに練習を続けた主人公の思いを考えることを通して、苦しいことや困難にあっても、自分がやろうと決めたことは、粘り強くやり遂げようとする態度を育てる」ことでした。

どちらの授業でも、子どもたちはペアトークやグルーptークでしっかりと自分の考えを伝え、うなずきながらしっかりと聞いていました。普段の授業でもきびきびとした態度は立派です。2学期以降も指導の工夫・改善をしながら授業をしていきます。



## 夏休みになります。家庭での御指導をお願いします。

■**子供の安全を守りましょう。**そのためにも、ルールを守らせましょう。SNS等スマホの使い方にも同様です。

子供の安全は、家庭だけでなく、地域での声かけなどで守ることができます。

■**家庭での仕事をさせましょう。**特に、掃除をさせましょう。できれば、雑巾を使って・・・

【掃除と学習】私は欲張りなのでしょうか。常々、もっとよくできないか、本当はどうある(する)べきなのかと考えています。菊鹿小の児童は、掃除もよく頑張ります。ただ、詰め(まとめ)が甘い。

掃除後にほうきの「穂」やほこりの「かたまり」が落ちている。学校では、「評価」と「改善」と言っています。家庭でも、仕事として掃除をやらせてみてください。道具の使い方の工夫も身に付くでしょう。その際、まとめや反省、後片付けの時間も大切に、自分の「足跡」を見せましょう。そして、成果を成長として褒め、反省を考えさせましょう。「掃除のできる子は、学習・運動も伸びる。自分で考え、工夫するから伸びる。」

【掃除と学習の関連(似ているところ)】

発見・気付き	どこが汚れているかな? 何をすればいいのかな? 以前、似たようなことはしなかったかな?
手順・方法	どこからすればいいかな? 何からした方がいいのかな? 何を使えばいいかな? どんなやり方があったかな?
実行	動いてみよう。やってみよう。(どこまで、何時まで、・・・)
反省・評価	きれいになったかな? できたかな? もっといいやり方はなかったかな? 次はこうしよう!←成長・向上



